

# 施策項目3 国際理解教育の充実

## 【評価結果】

【担当課：高校教育課(義務教育課)】



担当課HP

|             |                |
|-------------|----------------|
| <b>総合評価</b> | <b>概ね計画どおり</b> |
|-------------|----------------|

|           |   |
|-----------|---|
| 定量評価 [指標] | B |
|-----------|---|

|           |     |     |     |     |     |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 指標        | 評点  | (a) | (b) | (c) | (d) |
|           | 評価数 | 0   | 2   | 1   | 0   |
| d評価となった指標 |     |     |     |     |     |

|           |      |
|-----------|------|
| 定性評価 [施策] | 進展あり |
|-----------|------|

帰国・外国人児童生徒等教育の充実に向けて、地域や学校のニーズに応じた直接及び遠隔会議システムを活用した相談支援の実施や教職員等の指導力及び専門性の向上を図る研修会等の実施、地域の関係機関との連携による受入体制やDLA（東京外国語大学が開発した「外国人児童生徒の日本語能力測定ツール」）の実施による実態の多角的な把握に関する指導事例等の指導資料をWebページに掲載し、市町村教育委員会及び学校の受入れ体制の整備促進や指導の充実を図ることができた。

「英語教育改善プラン推進事業」において、年間3回の「E-Lineセミナー」を実施することにより、中核教員が言語活動の充実や指導と評価の一体化などのテーマに係る実践成果を全道に普及し、本道の英語教育の課題を踏まえた授業改善を図ることができた。

高等学校教育課程編成・実施の手引や北海道高等学校各教科等教育課程研究協議会を通して、学習指導・学習評価の改善・充実を図った。国際交流については、対面による交換留学事業の再開やオンライン交流の相手国・地域の拡充など、国際交流の機会の支援・充実を図った。

## 【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

|         |  |
|---------|--|
| 《課題・背景》 | <p>(1) 国際理解教育の充実<br/>                 ・グローバル化が急速に進展する中、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、国際社会において主体的に行動できる資質・能力の育成が求められている状況</p> <p>(2) 外国語教育の充実<br/>                 ・海外からの旅行者数が増加する中、実践的な英語力等の育成が学校教育に求められている状況</p> |
|---------|--|

|               |  |     |
|---------------|--|-----|
| (1) 国際理解教育の充実 | <p>①市町村や学校のニーズを踏まえ、帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援に向けた支援体制の構築及び日本語指導担当教員等の資質向上</p> <p>②関係機関との連携により、道内大学留学生との交流や留学経験者による体験講話などを実施するほか、海外留学プログラムの提供やオンライン交流の機会の創出など、高校生の国際理解・国際交流の機会を充実・支援</p>  |     |
| [P]           | <p>①・帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業運営協議会（オンライン）の開催（2月14日：13名参加）</p> <p>・帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業連絡協議会（オンライン）の開催（R3：第1回51名参加、第2回39名参加、第3回51名参加→R4：第1回12月9日：76名参加、第2回12月12日：56名参加）</p> <p>・有識者等を活用した学校訪問支援及び遠隔システムを活用した日本語指導や支援体制の整備に係る相談支援の実施（小学校10件、中学校5件、義務教育学校1件、高等学校4件、教育委員会2件：計22件）</p> <p>・高等学校における、特別的教育課程を編成して行う日本語指導の実施に向けた体制整備</p> <p>②・留学生受入や高校生派遣等を行う「Hokkaido Study Abroad Program」の実施（派遣高校生：R3（オンライン）：34名参加→R4（対面）：24名参加）</p> <p>・海外留学の機会を提供する「高校生交換留学促進事業」の実施（対面）（アルバータ州：10名、ハワイ州：5名）</p> <p>・海外の学校とのオンライン交流の新規実施に係る支援（豪ビクトリア州：4校、フィンランド：2校、シンガポール：2校）</p> | [D] |
| [A]           | <p>①教員等の指導力及び専門性の向上を図る研修会等の拡充、道教委のWebページへの帰国・外国人児童生徒等教育に関する情報の一元化及び充実、高校の教員を対象とした特別的教育課程に係る研修の実施</p> <p>②関係機関との一層の連携により、道内大学留学生との交流や留学経験者による体験講話などを実施する機会を拡大するほか、新たな海外留学プログラムの提供やオンライン交流の相手国・地域を更に拡大するなど、高校生の国際理解・国際交流の機会を充実・支援</p>  | [C] |

|              |   |     |
|--------------|---|-----|
| (2) 外国語教育の充実 | <p>①小・中学校、高等学校における児童生徒の英語力の向上に向けた取組の推進</p> <p>②教員の英語力の向上に向けた取組の推進</p> <p>③授業改善等の取組事例をオンライン上で共有できるネットワークの構築</p>  |     |
| [P]          | <p>①・E-Lineセミナー（オンライン）の開催（第1回：9月16日：113名参加、第2回：12月16日：28名参加、第3回：2月10日：135名参加）</p> <p>・小学校外国語専科教員研修会（兼E-Lineセミナー）</p> <p>・英検1級の実施（10月3日～11月24日、1回、20,599名参加）</p> <p>・英検ESGの実施（12月1日～1月31日、1回、22,122名参加）</p> <p>②・英語力フレッシュアップセミナー（オンライン）の開催（8月31日、9月5日、9月14日、10月14日：合計285名参加）</p> <p>・外部検定試験に関する情報提供（全ての市町村教育委員会及び道立学校に配付）（年2回）</p> <p>・特別受験制度等を活用した外部検定試験検定料補助（2022年度第2回実用英語技能検定：31名、TOEIC L&amp;R IPテスト：91名）</p> <p>・「TS-TEAM教育推進事業」に係る授業研究セミナーの実施（道央・道南・道北・道東の4ブロックにおいて実施（道北開催は東京学芸大学と連携）、32名参加）</p> <p>・北海道高等学校各教科等教育課程研究協議会外国語部会の実施（11月7日、251名参加）</p> <p>③・E-Netコミュニティの整備</p> <p>・E-Lineセミナーの成果等、効果的な取組事例をオンライン上で全道へ普及</p> | [D] |
| [A]          | <p>①各管内の英語の中核教員が所属する学校を実践指定校として指定し、管理職のマネジメントにより、学校や地域全体の取組を推進</p> <p>②各教育局義務教育指導監との連携、英語担当教員を対象とした英語資格・検定試験の特別受験制度の周知の工夫、文科省の先導的なオンライン研修実証研究事業の各プログラムの受講促進</p> <p>③クラウドを活用した情報共有等の仕組みの構築、授業改善に関する好事例の定期的な収集、道内の全ての教員への周知の工夫、道教委のWebページなどの活用</p>  | [C] |

## [指標の状況及び評価]

| 指標の内容   | 基準値        | 目標値（上段）    |            |            |      |      |      | 進捗率   | 評価 | 出典<br>(調査名等)   | 実施<br>主体 | 調査期<br>日又は<br>調査対<br>象期間 | 指標の<br>対象            |
|---|------------|------------|------------|------------|------|------|------|-------|----|----------------|----------|--------------------------|----------------------|
|   |            | 実績値（下段）    |            |            |      |      |      |       |    |                |          |                          |                      |
|   |            | (H29)      | (H30)      | (R元)       | (R2) | (R3) | (R4) |       |    |                |          |                          |                      |
| ① 中学校卒業段階で英検3級以上を取得又は英検3級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合(%)    | (H28)      |            | 35.0       | 40.0       | 45.0 | 50.0 | 50.0 | 88.6% | c  | 英語教育実施<br>状況調査 | 文科省      | R4.12                    | 公立中<br>学校（第3<br>学年）  |
|   | 26.9       | 32.8       | 30.0       | 36.5       | 51.3 | 47.4 | 44.3 |       |    |                |          |                          |                      |
| ② 高等学校卒業段階で英検準2級以上を取得又は英検準2級以上の英語力を有すると思われる生徒の割合(%) | (H28)      |            | 38.0       | 41.0       | 45.0 | 48.0 | 50.0 | 96.8% | b  | 英語教育実施<br>状況調査 | 文科省      | R4.12                    | 公立高等<br>学校（第3<br>学年） |
|   | 35.2       | 37.6       | 38.4       | 39.8       | 43.5 | 44.1 | 48.4 |       |    |                |          |                          |                      |
| ③ 「CAN-DOリスト」の学習到達目標の達成状況を把握している中学校の割合(%)           | (H28)      |            | 70.0       | 80.0       | 90.0 | 90.0 | 100  | 94.2% | b  | 英語教育実施<br>状況調査 | 文科省      | R4.12                    | 公立中<br>学校            |
|   | 45.4       | 60.4       | 77.4       | 79.6       | 77.5 | 81.2 | 94.2 |       |    |                |          |                          |                      |
| 評価結果  | (a)<br>指標数 | (b)<br>指標数 | (c)<br>指標数 | (d)<br>指標数 | 定量評価 |      | B    |       |    |                |          |                          |                      |
|   | 0          | 2          | 1          | 0          |      |      |      |       |    |                |          |                          |                      |
| 新型コロナウイルスの影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組        |            |            |            |            |      |      |      |       |    |                |          |                          |                      |
| d評価に対する今後の取組  |            |            |            |            |      |      |      |       |    |                |          |                          |                      |